

西脇病院のページ

【西脇病院の理念】

地域に信頼される良質な医療の提供

西脇市立西脇病院(☎22-0111)
ホームページ <http://nshp.jp/>

薬剤部から

医療用麻薬について

医療用麻薬とは、医療現場においてがんなどの痛みの治療に使用されている麻薬のことです。麻薬と聞くと不安に思う方もいらっしゃるでしょうが、痛みのある方に医師が適切に使用する医療用麻薬は、安全で効果的な薬です。使用する患者さん側は正しい知識を持って、医師の指導のもとで正しく使用することが重要です。そこで、多くの方がもっている誤解について紹介いたします。

●中毒（依存症）になる？

医療用麻薬を長期間使用し続けても、中毒になることはありません。痛みが弱くなった場合、医師の指導のもとで安全に医療用麻薬を減量したり、やめたりすることが可能です。ただし、痛みのない方に医療用麻薬を使用すると中毒になることがあります。絶対に他の方にはあげたりしないでください。

●使い続けると効かなくなる？

痛みのある方に医療用麻薬を使用する場合、痛みの増強に伴い使用量が増えることはありますが、鎮痛効果はなくなりません。

なりません。鎮痛のために十分量を適切に使用することが大切です。

●使い続けると命を縮める？

そういうことはありません。医療用麻薬の使用量が大量であった方と、そうでなかった方との間に寿命の長さに変わりがなかったという調査結果があります。

●頭がおかしくなる？

医療用麻薬を使い始めたころ、眠気や頭がぼんやりするなどの症状が出る場合がありますが、徐々に安定しますが、徐々に病状、全身の状態により医療用麻薬以外の原因であられることがあります。

●医療用麻薬を使うのは末期のがん患者だけ？

現在は、がん治療の早期から使われていく場合も増えており、末期だから使用するものではありません。それぞれの薬にはそれぞれ使用するためのルールがあり、薬が効いていくのかどうかは確認していく必要があります。

医療用麻薬には、他の薬と同じように副作用(主なものは便秘・吐き気・眠気など)があります。こうした副作用は、他の薬を用いることで症状が軽くなったり、時間とともに症状がなくなることがあります。



西脇小児医療を守る会コラム 56

ママにだってできるんだよ!!



未来につなぐ地域医療

新年度がスタートしました。1月に西脇小学校の6年生を対象に【地域医療を守る活動について】というテーマで総合学習が行われました。西脇南中学校の松田一郎先生が、西脇の地域医療について私たちの活動も含めてお話をされました。守る会からは子どもたちに向けたメッセージを送りました。



子どもたちは真剣に耳を傾けてくれ、『大人になったら活動の思いを受け継ぎ守っていききたい』『医師になり西脇病院で働きたい』などさまざまな思いを伝えてくれました。未来の西脇を支えていく子どもたちに地域医療を考えるきっかけが作れたことは守る会にとっても大きな一歩となりました。活動が6年目に入った私たち…未来の子どもたちにバトンタッチできるような活動を続けていきたいと思えます。

◆問合せ 西脇小児医療を守る会
☎090-8538-1337 石井
<http://www.kodomonomirai.com>
info@kodomonomirai.com

人間ドック検査内容を充実

平成25年4月1日から人間ドックの受診枠や検査項目を見直します。人間ドックのオプション検査も充実しました。ぜひご利用ください。

●レディースデー

月曜日が休日の場合、翌日の火曜日をレディースデー(安)や予約状況カレンダーを

●ホームページ更新

人間ドック料金計算表(目安)や予約状況カレンダーを

●口腔健診の実施

検査内容は、口腔粘膜検査、顎運動検査、口臭検査などです。

●検査項目の変更

1泊2日人間ドック
検査項目の変更
胃がんリスク検査(ABC検査)と内科系腫瘍マーカー(腫瘍がん)の検査を追加します。

●受診枠の拡大

毎日2名に拡大します。

●検査項目の変更

呼吸機能検査(肺活量検査)を追加します。

糖尿病教室

更新します。予約の際にご利用ください。

▼問合せ 健診部 (病院内線3209)

「皆さんこんにちは！糖尿病とのお付き合い、いかがされていますか？」
「糖尿病をみつめてみましょう。」
どなたでもお気軽に参加ください。

▼とき 4月26日(金)
午後2時～3時

▼ところ 病院講堂(2階)

▼持ち物 糖尿病手帳

▼問合せ 内科 (病院内線3030)

健康バンザイ



メタボリック症候群と高血圧
循環器内科主任部長
島雄 隆一郎

88

西脇病院の医師が健康や病気に関するさまざまな情報を提供します。

メタボリック症候群(インスリン抵抗性症候群)は、内臓型肥満に高血圧、耐糖能異常、脂質代謝異常を合併し、心血管疾患、糖尿病のリスクを増加させる代謝性異常の集積です。

三大栄養素の一つである脂肪が分解され脂肪酸となり、過剰の脂肪酸が白色脂肪細胞(細胞内に多量の中性脂肪をためる悪玉)と褐色脂肪細胞(一部内臓と筋肉にわずかに存在し、中性脂肪を熱に変換するミトコンドリアを多数含む善玉)に蓄えられますが、中でも内臓脂肪は皮下脂肪と比較して脂肪酸の合成と分解を繰り返す組織で、分解した多量の脂肪酸が肝臓で中性脂肪とコレステロールを促進して高脂血症を起し、肝臓へのインスリンの結合を阻害し、インスリンの分解を抑制して肝臓のブドウ糖産生を促進し血糖値を上昇させ、膵臓でのインスリン分泌が増加する高インスリン血症となります。

内臓脂肪細胞は、アディポサイトカインとよばれる生理活性物質を合成分泌し、インスリン受容体の酵素活性を低下させインスリンが効きにくい状態になります。インスリンの血管拡張作用の抵抗性と腎臓でのナトリウム再吸収作用の増加、交感神経活性化作用や炎症、血栓形成や酸化作用を促進し、組織におけるアンジオテンシンIIやアンジオテンシンI型受容体の活性化が起こり、血圧上昇を引き起こすためインスリン抵抗性を治療の標的とすることは、高血圧を含めたメタボリック症候群のすべての構成因子の改善につながり、心血管系イベント抑制に繋がります。

図書DVDを寄贈

今年も国際ソロプチミストかずぎ野の皆さんから小児用図書10冊とDVD5巻をいただきました。

「一度にたくさんはできないけれど活動を続けていききたい」と会長の藤原珠美さん。平成21年度に西脇病院がグランドオープンして以来、毎年寄贈を続けていただいています。

図書は小児科外来の待合で、DVDは小児科入院病棟で「かずぎ野文庫」として蔵書し患者さんによく利用していただいています。



▲今回寄贈分と合わせて図書は88冊、DVDは26巻に

ち時間にとっても役に立ち助かっています。毎年気にかけていただき、感謝しています。大事に使わせていただきます。」と大洞慶郎西脇病院長がお礼を述べました。

健康づくりセンター行事予定

| 行事名 | 対象者 | 実施日時 | 場所 |
|-----------|-------------------------------|----------------------------|-----------|
| 母子健康手帳の交付 | | 月～金曜日(祝日を除く) 8:30～17:15 | |
| 3か月児健診 | 24年12月生 | 4月9日(火) 13:00～14:00 | 健康づくりセンター |
| | 25年1月生 | 5月7日(火) 13:00～14:00 | |
| 1歳6か月児健診 | 23年9月生 | 4月10日(水) 13:00～14:00 | |
| 3歳児健診 | 22年3月生 | 4月26日(金) 13:00～14:00 | |
| 10か月児乳児相談 | 24年6月生 | 4月18日(木) 9:30～11:00 | |
| 離乳食教室 | 希望者 | 4月15日(月) 13:30～15:30 | |
| 健康相談 | 希望者 | 毎週水曜日(祝日除く) 9:30～11:00 | |
| こころの相談 | 健康づくりセンターに申込みが必要 | 4月19日(金) 13:30～17:00 | |
| 歯科訪問 | 歯科医院に通院困難な方(健康づくりセンターに申込みが必要) | 4月17日(水) 13:30～15:00 | 自宅 |